61 01 10 02 02 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月19日（水）

事務事業	小中学校教材整備事業	担当課	教育総務課	担当係	学校事務係	管理番号	6107
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ / サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	根拠法令個別計画等	教育基本法、学校教育法				
中項目	200001 共に学び、成長が実感できるまちづくり						
小項目	200001 「生きる力」を育む学校教育の推進						

事業概要	市立小中学校の各校に予算を配当し、各校の裁量により、自主的及び効率的に、授業で使用する教材の購入・整備するものである。
目的 ※何のために	市立小中学校の教材の充実を図るため。
対象 ※誰・何を対象に	市立小中学校に通う児童、生徒
手段 ※どのように	予算を市立小中学校に配当し、各校の裁量により教材を購入・整備する。
成果 ※何を求めるか	市立小中学校の各校で、自主的及び効率的に教材を購入・整備する。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　■ その他（ 学校 ）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	10	教育費	02	小学校費	02	教育振興費	小学校教材整備事業	21,380,450
一般会計	10	教育費	02	小学校費	02	教育振興費	小学校図書整備事業	8,167,654
一般会計	10	教育費	02	小学校費	02	教育振興費	理科教育設備整備費等補助事業（小）	1,464,782
一般会計	10	教育費	03	中学校費	02	教育振興費	中学校教材整備事業	14,762,859
一般会計	10	教育費	03	中学校費	02	教育振興費	中学校図書整備事業	5,497,781

本事業の主な業務

・ 備品購入予算の配当	・
・ 使用不能備品の廃棄	・
・ 消耗品、備品の購入	・
・ 図書の購入	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			学校備品・消耗品の購入、廃棄 図書の購入 理科教育設備の購入	学校備品・消耗品の購入、廃棄 図書の購入 理科教育設備の購入	学校備品・消耗品の購入、廃棄 図書の購入 理科教育設備の購入	学校備品・消耗品の購入、廃棄 図書の購入 理科教育設備の購入	学校備品・消耗品の購入、廃棄 図書の購入 理科教育設備の購入	学校備品・消耗品の購入、廃棄 図書の購入 理科教育設備の購入
事業費	予算（現額）		46,420,000	46,482,000	49,407,000	54,656,000	44,619,000	44,546,000
	決算額		45,553,786	45,254,419	48,333,294	52,180,421	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	9,224,000	0	0
		県支出金	992,000	1,235,000	1,250,000	1,250,000	1,450,000	1,250,000
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	2,905,000	1,120,000	1,620,000	718,000	0	0
		一般財源	41,648,786	42,899,419	45,463,294	40,988,421	43,169,000	43,296,000
人件費	従事職員数（人）		0.42	0.59	0.20	0.34	0.34	0.34
	人件費相当試算 ※1		3,267,180	4,591,380	1,621,000	2,766,240	2,766,240	2,766,240
			0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）			48,812,966	49,845,799	49,954,294	54,946,661	47,385,240	47,312,240

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	教材整備費配当校	目標値	校	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	□
			実績値		29.00	29.00	29.00	29.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		全校に教材費を配当する必要があるため							
		教材整備費配当校									
□	活動指標２	教材整備費平均配当額	目標値	千円	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		1,525.20	1,560.49	1,515.62	1,717.54	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		予算額が見込めないため、目標値を設定しない。							
		総教材整備費／教材整備費配当校									
■	成果指標１	小中学校における教材整備費の執行率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		98.18	97.35	98.45	95.14	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		教材整備費をすべて執行し、教材整備を進めるため							
		決算／予算									
■	成果指標２	図書標準冊数を上回っている学校の割合	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	96.60	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		すべての学校で図書標準冊数を上回る図書を保有するため							
		図書標準冊数を上回っている学校									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

4．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 小中学校全校に教材整備費を配当し、各校において予算執行した。１校あたりの平均配当額については、コロナ対策として学校図書の充実のため補正予算措置したため、例年に比べ配当額が多くなった。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 教材整備事業費の予算執行率が前年度に比べ低くなった。その要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、校外学習が中止になったことにより、バス代等の輸送費が減となったため。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	学校事務係長　橋本　恵一

5．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	小中学校教材整備事業	担当課	教育総務課	担当係	学校事務係	管理番号	6107

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

学校現場の実情や要望を確認しながら、各校が主体的に教材整備をすることができる環境づくりを進めていく。また、新型コロナウイルス感染症の影響により例年行われる学校活動が中止になり、予算執行が減となったが、事業としては今後も現状のまま継続とする。

評価者	次長兼教育総務課長

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

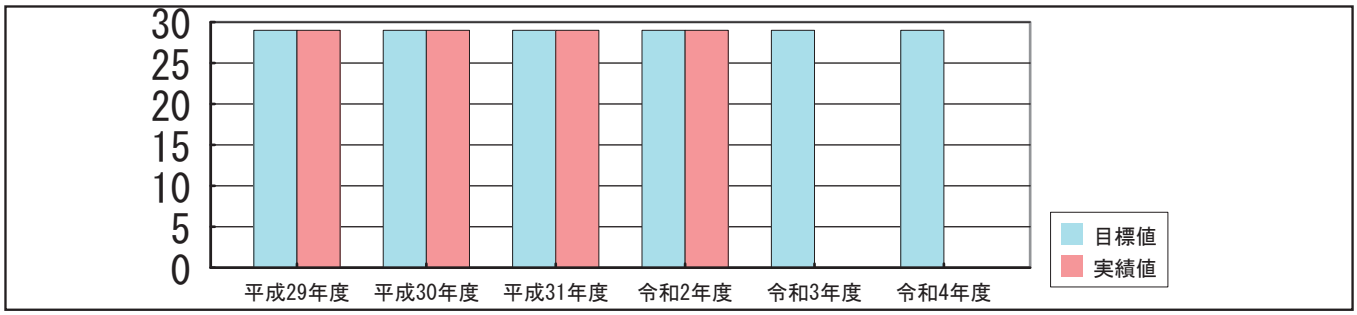
改善・改革案	

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

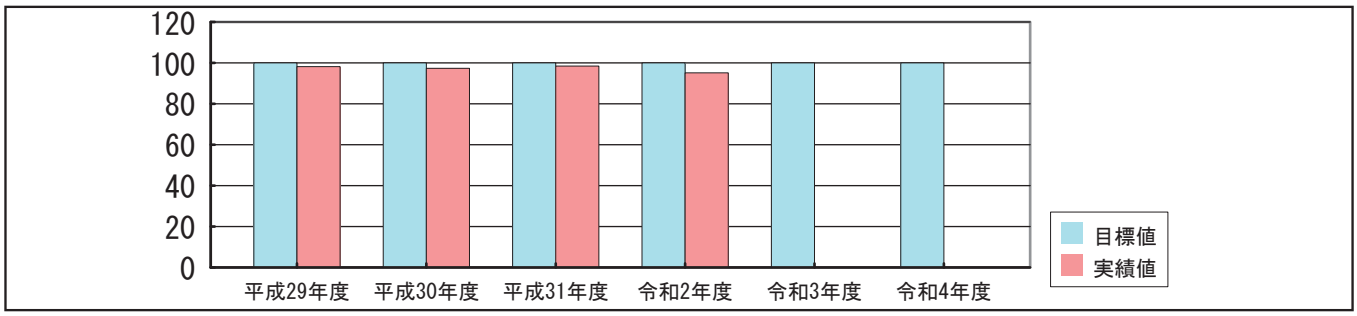
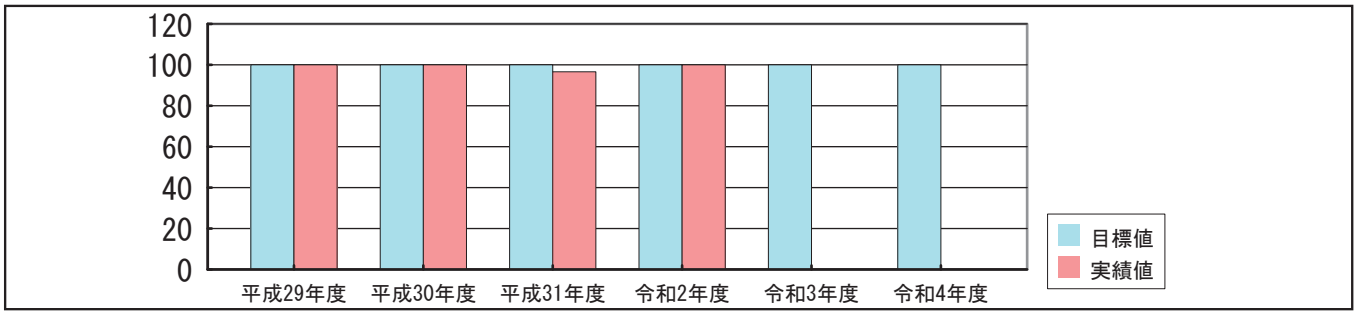
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	教材整備費配当校



区分	成果指標１	指標名	小中学校における教材整備費の執行率



区分	成果指標２	指標名	図書標準冊数を上回っている学校の割合